

平成 25 年 2 月 8 日

各 位

東京都港区西新橋一丁目 6 番 21 号
 インヴァスト証券株式会社
 代表取締役社長 川路 猛
 (JASDAQ コード : 8709)
 問合せ先 : 執行役員総合企画部長 大村 祐一郎
 (TEL 03-3595-4133)

平成 25 年 1 月度 月次概況 (速報) のお知らせ

平成25年1月度の当社の月次概況を下記のとおりお知らせいたします。

なお、営業収益等は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 24 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	166	242	291	231	279	291	233	263	257	320	284	295
預り証拠金残高 (単位：百万円)	53,582	52,972	52,353	52,917	54,006	54,078	54,767	55,633	55,921	54,929	54,918	81,571

年 月	平成 25 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	430											
預り証拠金残高 (単位：百万円)	79,741											

- (注) 1. 預り証拠金残高は各月末時点における全事業の合計額であります。
 なお、平成 24 年 12 月の預り証拠金残高には、12 月 2 日付の事業承継に伴う「くりっく 365」の預り証拠金 (278 億 32 百万円) および「くりっく株 365」の預り証拠金 (4 億 37 百万円) を含んでおります。
2. 平成 25 年 1 月より、開示の速報性を重視し、本資料における自己資本規制比率の開示をとりやめております。
 なお、毎月末時点の自己資本規制比率につきましては、当社ホームページに掲載しております。
<http://www.invast.jp/company/ir/bis/index.html>
 また、当社の自己資本規制比率は、平成 25 年 1 月の東京証券取引所グループと大阪証券取引所の経営統合により、当社保有の投資有価証券 (日本取引所グループ株式) にかかる市場リスクが増加することに伴い、昨年末と比較して低下する見込みです。

《 1 月度の概況 》

1 月の外国為替市場のドル円相場は、引き続き、日本の金融緩和策強化への期待や米国の財政の壁が回避された安心感から上昇しました。中盤、日銀金融政策決定会合の結果が期待通りとはならなかったことから一時、弱含む場面もありましたが、その後、日本の要人から円安を肯定する発言が相次いだことから円売りに安心感が台頭し、結局、ドル円は 2010 年 6 月以来となる 91 円台で 1 月の取引を終了しました。

このような環境のなか、当社の F X 事業は対円通貨で利益確定の売りや新規に買う動きが広がり、終始、活況な取引となりました。預かり証拠金については、利益確定の売りの増加に伴い出金依頼が増加し全体の預かり証拠金は減少したものの、活発な取引が出来高を押し上げ、営業収益は 4 億円を突破いたしました。

以上